

# くまもと経済

C 表紙の人  
Cover Story

大熊 薫  
地域に貢献する「魅力ある人間」を育成  
尚綱大学・尚綱大学短期大学部学長

8 2019  
月号  
VOL.458



熊本駅「住」が先行、オフィス集積の兆しも 県内新幹線駅周辺

現地法人、生産工場のリーダー育成 県内企業で進む外国人材の戦略的活用

県下で広がる「ビジネスサポート」/"熊本女子"魅了するカフェ続々

特集



▲第4回熊本テックプラングランプリで最優秀賞を獲得した崇城大学チームP&Aの代表(写真中央)やパートナー企業賞を受賞したチーム代表、審査員を務めたコンソーシアムの役員ら(7月20日、肥後銀行本店2階大会議室)

# 崇城大学P&Aが最優秀賞獲得

「光合成細菌由来の藻類活力剤」テーマに

第4回次世代ベンチャーコンテスト

熊本テックプラングランプリ



▲12チームのプレゼンを聞く審査委員(写真右)。新規性、実現可能性、世の中を変える可能性、事業化に対するパッションを総合的に審査した

県、肥後銀行、熊本大学、県工業連合会、(株)リバネスで構成する熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム(会長・荒川浩二肥後銀行上席執行役員地域振興部長)は7月20日、肥後銀行本店2階大会議室で第4回次世代ベンチャーコンテスト「熊本テックプラングランプリ」を開催した。

同コンソーシアムは2016年4月から県内の次世代ベンチャーの創出を目指し、研究者や起業家を支援する創業支援プログラム「熊本テックプランター」を展開。その一環としてコンテストを開催しているもので、今年は生活習慣病につながる代謝異常の簡易測定器、コールセンターで開発された音声から感情を解析する技術、水田ごぼう畑の雑草除草ロボットなど、ものづくり、バイオテクノロジー、アグリなどの分野から32チームがエントリー。書類選考で選ばれた12チームによる口頭発表を行った結果、「光合成細菌由来の藻類活力剤」をテーマに発表した崇城大学大学院工学研究科のチームP&A(宮坂均代表)が最優秀賞を獲得した。

(編集部・甲木昌宏)